

# ワークショップ教材 『挑戦！ごみゼロ生活』

## WS4：ごみゼロアイデア発表会



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



### <スライドの位置づけ>

ワークショップを始める際の「表紙」としてのスライドです。

### <ファシリテーションのコツ>

任意の方法で場づくりをお願いします。また、冒頭は前回までの内容のおさらいスライドが続きます。あまり多くの時間を取ることはできないため、重点を置くスライドをいくつか決めてメリハリをつけながら進めるようにしてください。

# 今回のテーマ

## 環境

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



### <スライドの位置づけ> 再掲

今回のテーマをおさらいするスライドです。

### <ファシリテーションのコツ>

「今回は『環境』をテーマにやってるよね。みんなは環境について、どんな仕事について探究してるんだっけ？」などと問いかけて、思い出しの時間を取りましょう。

---

### ▼初掲情報

---

### <スライドの位置づけ>

今回のテーマを発表するスライドです。ここで、子どもたちに「“環境”をテーマにした仕事って、どんな仕事だろう？」と軽く考えさせます。

### <ファシリテーションのコツ>

「何だと思う？」などと子どもたちに問いかけてみて、反応（の良さ）に応じて数名に当てさせたりしても良いでしょう。「何だろう？」という思考を子どもたちに持たせた上で「環境なのですが、次の仕事に挑戦してもらいます。」と話して、次のスライドに進みます。

# 「コンサルタント」という仕事

に挑戦します



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



## <スライドの位置づけ> 再掲

今回のテーマとなる「仕事」（＝コンサルタント）をおさらいするスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

次のスライドに問いかけがあるので、このスライドでは「コンサルタント」というキーワードをしっかりと思い出してもらえればOKです。テンポよく、次のスライドに進みましょう。

## ▼初掲情報

## <スライドの位置づけ>

今回のテーマとなる「仕事」を発表するスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

知らないことを前提として、「コンサルタントって知ってる人～?」「コンサルタントってどんな仕事だと思う?」「この写真の人、何してるかな?」などと問いかけましょう。「知らない」が多いと思いますが、写真を見て予測して答えてくれる子もいると思います。子どもたちと対話をしながら、「コンサルタントはね…」と言って、次のスライドに進みましょう。

# コンサルタントの仕事とは 分析する ⇒ 提案する



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



## <スライドの位置づけ> 再掲

コンサルタントの仕事で大切なことをおさらいするスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

下記を参考に、「良い提案のためには、『分析』が必要不可欠」ということをしっかりとメッセージしましょう。

## ▼初掲情報

## <スライドの位置づけ>

コンサルタントの仕事を一言で解説するスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

基本的には「コンサルタント」を知っている子は少ないので、簡単に言うとどんな仕事なのかを解説してください。たとえば、「誰かが困っていること似ついて調べて、『○○○なので△△△したほうがいいですよ!』と提案する仕事だよ。」というイメージです。その上で、「いい提案をするためには、分析することが必要なんだけど、分析ってどうすることかな?」などと次のスライドにつながる問いかけをしていきましょう。スライドのイラストを使って、「この人、なんか図を指差してるよね!」などと触れながら進めても良いと思います。

# 身の回りから環境を良くしよう！



君の分析と提案にかかっている！

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



## <スライドの位置づけ> 再掲

子どもたちを「環境改善活動」に誘い込むスライドです。

## ▼初掲情報

## <スライドの位置づけ>

子どもたちを「環境改善活動」に誘い込むスライドです。

## <伝えたいメッセージ>

「環境について考えるときは、身の回りのことから取り組むことが大事！」

## <ファシリテーションのコツ>

子どもたちのワクワク感を引き出すイメージで進行しましょう。「これからの地球は、みんな一人ひとりの分析と提案にかかっているからね！」と伝え、やる気を引き出してあげてください。

# 今回のテーマ 「ごみ」

ごみについて分析をして  
ごみ量削減に取り組みます！

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



## <スライドの位置づけ> 再掲

環境に関するテーマとして「ごみ」を改めて提示するスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

「前は、身の回りのごみについていろいろ考えたね！」などとコメントし、今回の内容へと進んでいきましょう。宿題については、次のスライド以降で扱うため、この場面では触れなくてOKです。

## ▼初掲情報

## <スライドの位置づけ>

今回のテーマである「環境」を「ごみ」へと絞り込んで、改めて発表するスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

「今回のテーマは『ごみ』です！」「みんなにはこれから、『ごみ』について分析をしてもらって、ごみ量削減に取り組んでもらいます！」と元気よく発表し、子どもたちを盛り上げましょう。

# ミッション

## ごみゼロ生活に挑戦！

どれだけごみを減らせるだろうか？

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲  
ミッションをおさらいするスライドです。

### ▼初掲情報

<スライドの位置づけ>  
これからの期間のミッションを発表するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「難しそうだけど、面白そう！」という雰囲気うまくつくれるよう心がけて発表しましょう。「この教室でじゃなくて、みんなの普段の生活の中で挑戦してもらいます！」と位置づけを伝えつつ、挑戦意欲をうまく引き出していきましょう。



## 驚異のごみゼロ生活



あなたひとりではじめられる、  
ささやかで  
楽しい革命です



家族4人、  
1年間のごみは  
たったこれだけ!



世界10ヶ国  
以上で翻訳され  
大反響!

ジョンソンさんの家は  
家族4人で1年間のごみが  
たったこれだけ

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.

参考：ベア・ジョンソン著『ゼロ・ウェイスト・ホーム』



### <スライドの位置づけ> 再掲

「ごみゼロ生活」の実践について振り返るスライドです。

### <ファシリテーションのコツ>

改めてこの事例に触れ、高い目標を見せることで今後の取り組みの挑戦意欲を煽ります。

### ▼初掲情報

### <スライドの位置づけ>

「ごみゼロ生活」を実践している人（と本）を紹介するスライドです。

### <ファシリテーションのコツ>

前パートで触れた「1日1人の平均ごみ量=約1kg」ということを引き合いに出しながら、「1年間でこれだけって、驚きだよな!」と子どもたちと驚きを共有しながら進めると良いでしょう。その上で、「でも、実際にやっている人がいるんだから、みんなも挑戦できるはず!」と盛り上げていきましょう。

### <参考情報> 『ゼロ・ウェイスト・ホーム』

カリフォルニア在住のフランス人女性ベン・ジョンソン氏による、シンプルでモノを持たない暮らしの実践を紹介した書籍。「台所と買い物」「仕事部屋」「子育てと学校」「外食・旅行」など生活のシーンごとに紹介される実践的なアイデアには、さまざまな角度から暮らしを変えていくヒントが散りばめられている。「リフューズ（断る）」「リデュース（減らす）」「リユース（繰り返し使う）」「リサイクル（資源化する）」「ロット（堆肥化する）」とい



う5つの基本ステップをもとに、生活のシーンごとに実践的な取り組みが紹介されている。



# 挑戦結果をふりかえろう

---

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



## <スライドの位置づけ>

宿題で挑戦した「ごみゼロ生活」の結果をふりかえるパートに入るスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

「みんなには、それぞれ2回目の『ごみゼロ生活』に挑戦してきてもらいました!」「どうだった〜?」などと軽く問いかけて、(本スライドから次のスライドにかけて)感想をいくつか拾い上げながら本編に入っていきます。

▼前回の宿題▼  
1週間分のごみ量を計測  
+  
ごみゼロ生活に挑戦！

生ごみを減らせたか？

---

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

前回の宿題を確認するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

もしも宿題に取り組めていない子がいた場合は、「近くのお友達にやったことを教えてもらいながら参加しよう！」などの対応をしてください。

# ごみゼロ チャレンジの 結果をまとめよう

前回のごみ量と比較するグラフを作成！  
(一人ずつ)

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



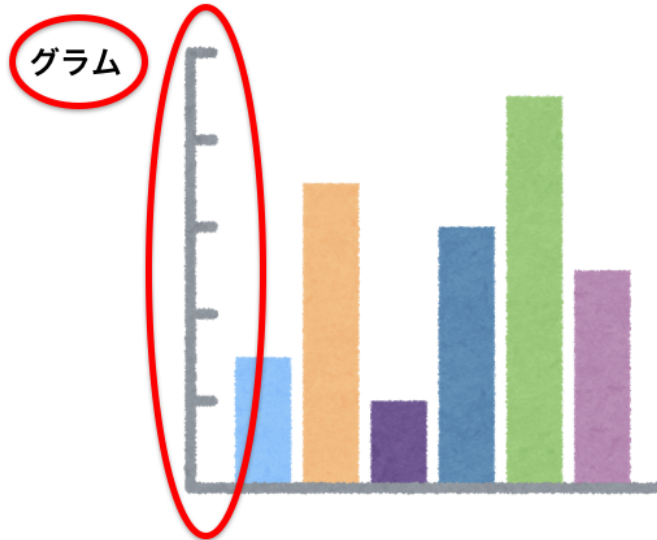
## <スライドの位置づけ>

「ごみゼロ生活」の結果をまとめるワークに入るスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

詳しいまとめ方は次のスライド以降で解説していきます。ここでは、「コンサルタントの仕事は、事実をしっかりと分析することが大事だったよね。」のように触れながら、「まとめたり振り返ったりすることは大切！」ということメッセージするようにファシリテーションしていきましょう。

# グラフを書く時に大事なこと（確認） タテの軸の「単位」「目盛り」



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



## <スライドの位置づけ> 再掲

グラフを書くときのポイントをおさらいするスライドです。

## ▼初掲情報

## <スライドの位置づけ>

グラフを書くときのポイントを解説するスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

「横には、みんなそれぞれのデータを並べて書いていくんだけど、縦は何で比べるかによって変わります!」「大事なのは、『単位』と『目盛り』だよ!」と解説を進めていきます。

「たとえば、ごみの重さで比べるなら、単位は『グラム』になるよね!」などと進め、「ビンのごみだったら、単位は何にすると比べやすいかな?」などと問いかけ、子どもたち考えさせるのも理解を深める上で効果的です。

## ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）

計測期間

～

分類	中身：どんなものがあった？	測り方	計測値①	計測値②
①生ごみ		① 袋の大きさ・数と詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ 袋の数 個分	グラム
②燃えるごみ		① 袋の大きさ・数と詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ リットル袋 袋の数 個分	グラム
③燃えないごみ		個数	個	個
④資源ごみ	雑紙（新聞・雑誌・広告等）	積んだ時の高さ	センチ	
	ダンボール	個数	個	
	ペットボトル	本数	本	
	缶	本数	本	
	瓶	本数	本	
	紙パック（牛乳等）	個数	個	
	食品トレー	個数	個	
プラごみ（プラマークあり）	個数	個	個	

名前



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.

### <スライドの位置づけ> 再掲

『ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）』を手元に準備してもらうためのスライドです。

### <ファシリテーションのコツ>

このスライドを掲示して、「みんなが宿題で計測して書いてきたこのシートを準備しましょう。」と話し、ワークの準備を整えてください。

## ごみ分析シート②（1週間分の家庭ごみ）

計測期間

～

ごみ量 比較グラフ

単位

比べるごみ

目標達成できた？できなかった？

うまくいったことは？

大変だったことは？

もっとうまうるとよさそう？

名前

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



### <スライドの位置づけ> 再掲

『ごみ分析シート②（1週間分の家庭ごみ）』の書き方を改めて解説するスライドです。

### <配布物>

- ・『ごみ分析シート②（1週間分の家庭ごみ）』 : 1枚/人

### ▼初掲情報

### <スライドの位置づけ>

『ごみ分析シート②（1週間分の家庭ごみ）』の書き方を解説するスライドです。

### <ファシリテーションのコツ>

ここでは左側のグラフ欄のみ解説すればOKです。初めに、「比べるごみ」を右上の欄に記入するように指示します。次に、そのごみをどの「単位」で比べるのかを左上の欄に記入するように指示します。次に、目盛りの取り方のコツを解説します。ここは算数が苦手な人は難しく感じる部分なので、全体への解説で満足せず、個々人のフォローで理解を促進するよう意識して動きましょう。最後に、横軸をそれぞれ説明して個人ワークに移ります。

### <配布物>

- ・『ごみ分析シート②（1週間分の家庭ごみ）』 : 1枚/人

# グラフが描けたら アイデアを深く 振り返ろう

目標達成できた？うまくいったことは？  
難しかったことは？改善点は？

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲  
基本的に下記同様。

## ▼初掲情報

<スライドの位置づけ>  
作成したグラフを参考にして、取り組み結果を振り返るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「書いたグラフを見て、右の項目について振り返りをしていきましょう。」と伝え、前スライドに戻って右側の欄の観点を解説します。「まずは、自分がやったことがどうだったか？を徹底的に考えて振り返ってから、今後どうする？ということを考えるようにしましょう！」などと大人の社会でやっている振り返りを子どもたちにも教えてあげるようなイメージでファシリテーションしていきましょう。



# お互いに アイデアを伝えよう

シートを発表して「なぜ減ったの？」  
「何が前と変わった？」など質問し合おう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲  
基本的に下記同様。

<配布物>

- ・サインペン : 1本/人
- ・付箋 (黄) : 1束/島

---

## ▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

各自が振り返った内容を共有し、お互いに質問し合うワークのスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「まず、どんな作戦 (アイデア) だったのかを紹介した後に、グラフを見せながら取り組み結果を話していこう。」などと大まかな発表の仕方を解説します。発表を聞く側は、疑問に思ったことなどを質問してどんどん深く探究していくように促します。

<配布物>

- ・サインペン : 1本/人
- ・付箋 (黄) : 1束/島

# お互いに アイデアを磨こう

「もっとこうするとよさそう！」という  
アイデアを付せんに書いてプレゼントしよう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲  
基本的に下記同様。

<配布物>

・付箋（ピンクなど） : 1束/島

## ▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

前ワークの続きとして「アイデアを磨く」ワークに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「ここがダメ！ではなくて、もっとこうすると良さそうじゃない？とアイデアをプレゼントするような気持ちでやっていこう！」というようなニュアンスでワークに入っていきます。ここでは、先ほどの「質問ふせん」と区別するために付箋の色を変えるようにしてください。

<配布物>

・付箋（ピンクなど） : 1束/島

# 他に「ごみ量」が 変化したのは？

時間が余ったらチャレンジしたところ  
以外のごみについても振り返ろう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲  
基本的に下記同様。

---

## ▼初掲情報

<スライドの位置づけ>  
他の「ごみ量」の変化について振り返るスライドです。

<進め方>

- (1) 個人ワーク：2枚（前回と今回）の『ごみ計測シート』を並べて、変化したところを探す。
- (2) グループワーク：「なんで変化したの？」 「どんな方法で減らしたの？」と周りが質問しそれに答える。

# 中間発表

## ごみゼロ チャレンジの「結果」と アイデアの「改善」について 発表しよう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲  
基本的に下記同様。

---

### ▼初掲情報

---

<スライドの位置づけ>  
チャレンジの「結果」とアイデアの「改善」を発表する場面のスライドです。

### <ファシリテーションのコツ>

「発表する人は、①どのごみを減らすために、②どんな作戦で挑み、③どんな結果が出たか、を発表して、最後に④作戦を改善するアイデアを発表しましょう。」「聞いている人は、自分の作戦にも関係しそうなことや使えそうなアイデアはないかな？という意識で発表を聞こう。」などと、それぞれに意識するポイントを与えてあげてから発表に入ると、場が活性化しやすいと思います。



# ベストアイデアを提案！

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



## <スライドの位置づけ>

本ワークショップの最終アウトプットをつくるパートに入るスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

「これまで、ごみについていろいろな知識を得たり、家庭のごみ事情をいろいろ計測したり分析したり、ごみを減らすアイデアを考えて実践したり、いろんなことに取り組んできました！ いよいよ、コンサルタントの最後の仕事である『提案』づくりに入っていきたいと思えます！」などとファシリテーションし、盛り上げて入っていきましょう。

# アイデア提案！

自分のベストアイデアを  
企画書にまとめて  
他の人に**提案**しよう

---

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



## <スライドの位置づけ>

「ベストアイデアを企画書にまとめる」ワークに入るスライドです。

## <ファシリテーションのコツ>

前スライドからの流れでテンポよく進めていきましょう。

## ▼まとめ方▼

# 5枚の紙芝居

- ① 課題 (もともと○○な状態だった)
- ② 解決策 (△△というアイデアを考えた)
- ③ 結果 (やってみたら□□になった)
- ④ 考察 (そこで気づいたのは●●ということ)
- ⑤ 提案 (あなたも▲▲してみませんか?)

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



### <スライドの位置づけ>

ワークの内容と進め方を解説するスライドです。

### <進め方>

- (1) 当初自宅で抱えていたごみの課題を描く。家庭全体を対象としてもよいが、基本的には1つのごみに焦点をあてるほうがよい。ごみ計測シートやごみ分析シート①を参考に、どの程度ごみがあったか量を明確にすること。
- (2) そのごみの課題を解決するために自分が実践したアイデアを1つ説明する。ごみゼロアイデアシートを参考に、作戦名や作戦の内容をわかりやすく書き出すこと。
- (3) アイデアを実践した結果を説明する。ごみ分析シート②を参考に、どの程度ごみが減ったか量を明確にすること。
- (4) アイデアを実践した上で自分が感じたことを伝える。「楽しかったこと」や「難しかったこと」、「気づいたこと」など、一番自分の心に残ったことを表現すること。
- (5) 他の人にオススメしたいことを、シンプルに書き出す。言葉のメッセージだけでもよい。

### <ファシリテーションのコツ>

5枚の紙芝居の1枚1枚の位置付けをしっかりと共有しましょう。必ず5枚という制約の中で制作すること、文字だけでなく絵やグラフを活用してわかりやすく描くことが重要であると伝えて下さい。具体的にどんなことを描けばよいかすぐにイメージができない生徒もいるので、例えば「①課題」の場合、「○○というごみが大量にあった子がいたよね。例えば、そのごみが溜まっている様子を絵で表現したり、他の人とごみの量を比べたグラフを描いたりして、その課題を他人に伝えるようにしよう」と具体的な例を提示するとよいです。説明が終わったらすぐに作業に入り、制作スピードが遅い生徒や悩んでいる生徒のフォローに回りましょう。

<配布物>

・A3厚紙（白）

：5枚／人

・カラーペン／色鉛筆など

：クラスの共有資材として



# 最終発表会

どのアイデアがいいと思う？  
お互いに発表して評価しよう

# 今日のふりかえり

「学んだこと（＝発見・気づき）」  
「今後へ活かしたいこと」を  
ふりかえりシートに書こう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



## <スライドの位置づけ>

アイデア提案の「最終発表会」を行うスライドです。

## <進め方>


- (1) 全員の作品（紙芝居5枚ずつ）を壁や机の上に掲示する
- (2) 制限時間を設け、教室の中を巡回して他の人の作品を閲覧しあう
- (3) 元の状態に戻り、数名に感想を聞いてフィードバックしあう。特に「どのアイデアをやってみたいと思ったか?」「それはなぜか?」という点を質問する

## <ファシリテーションのコツ>

少人数クラスであれば、全員が自分のアイデアを全体発表し、それに対してコメントをし合う形式でも構いません。時間やクラスにあわせて適切な発表方法を決めましょう。フィードバックの際は、アイデアの「良し悪し」ではなく、そのアイデアを「やってみたいか」という気持ちにフォーカスすることが大切です。

## <配布物>

- ・サインペン : 1本/人
- ・付箋 : 1束/島

環境	1ヶ月の目標（環境ワークショップが終わった時に達成していたこと）		名前	
	毎週のふりかえり			
	月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）		今後へ何を活かしたいか？
	月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）		今後へ何を活かしたいか？
	月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）		今後へ何を活かしたいか？
月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）	目標はどの程度達成できたか？		
Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.				

<スライドの位置づけ> 再掲

『ふりかえりシート』の書き方を解説するスライドです。

<進め方>

- (1) 初回に配布された『ふりかえりシート』を取り出す。
- (2) “毎週のふりかえり”の4段目に今日の日付を書いて、その横に「学んだこと（＝発見・気づき）」と  
「目標はどのていど達成できたか？」を書く。
- (3) 大切に保管する。（※シリーズを通して、このシートに書き足していく。）

<ファシリテーションのコツ>

シートを忘れたり失くしたりした子どもがいたら、『ふりかえりシート』を配布します。  
上記の進め方をしっかりと指示しましょう。筆が進んでいない子どもがいたら、「○○したら、うまくいったじゃん！」などと助け舟を出してあげましょう。

## 【ポイント】

行動してわかったことは、自分だけで  
終わらせず、他の人に伝えよう

アイデアは「提案」「説得」する  
ための企画書にまとめよう

---

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



### <スライドの位置づけ>

最後のまとめのスライドです。

### <伝えたいメッセージ>

「行動してわかったことは、自分のものだけにしていちゃもったいない！ 他の人にも伝えよう！」

「自分の意見やアイデアを提案するときは、企画書としてまとめよう！」

### <ファシリテーションのコツ>

上記のメッセージを強く伝え、次回へのポジティブな熱量（楽しい雰囲気）を保ってワークショップを終了していきましょう。